

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成20年4月10日(2008.4.10)

【公表番号】特表2007-525501(P2007-525501A)

【公表日】平成19年9月6日(2007.9.6)

【年通号数】公開・登録公報2007-034

【出願番号】特願2007-500725(P2007-500725)

【国際特許分類】

C 07 K	16/00	(2006.01)
C 07 K	1/18	(2006.01)
G 01 N	30/00	(2006.01)
G 01 N	30/88	(2006.01)
G 01 N	30/02	(2006.01)

【F I】

C 07 K	16/00	
C 07 K	1/18	
G 01 N	30/00	A
G 01 N	30/88	J
G 01 N	30/88	1 0 1 P
G 01 N	30/02	B

【手続補正書】

【提出日】平成20年2月22日(2008.2.22)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

液体から1種以上の抗体を精製する方法であって、マルチモーダルリガンドを固定化した担体からなる第一のクロマトグラフィー樹脂に上記液体を接触させて抗体を該樹脂に吸着させる段階であって、各マルチモーダルリガンドが1以上の陽イオン交換基及び1以上の芳香族又は複素芳香族環系を含む段階、該樹脂から抗体を遊離させるための溶出剤を添加する段階、並びに得られた溶出液を第二のクロマトグラフィー樹脂に接触させる段階を含んでなる方法。

【請求項2】

マルチモーダルクロマトグラフィー樹脂に接触させる液体が細胞培養液又は発酵プロセスである、請求項1記載の方法。

【請求項3】

マルチモーダルリガンドの芳香族又は複素芳香族環系の環形成原子が炭素(C)、硫黄(S)及び酸素(O)原子からなる群から選択される、請求項1又は請求項2記載の方法。

【請求項4】

第二のクロマトグラフィー段階が、イオン交換クロマトグラフィー、疎水性相互作用クロマトグラフィー(HIC)、固定化金属アフィニティークロマトグラフィー(IMAC)及びアフィニティークロマトグラフィーからなる群から選択される、請求項1乃至請求項3のいずれか1項記載の方法。

【請求項5】

第二のクロマトグラフィー段階がイオン交換クロマトグラフィーである、請求項4記載の

方法。

【請求項 6】

第二のクロマトグラフィー段階がマルチモーダル陰イオン交換クロマトグラフィーである、請求項 1 乃至請求項 5 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 7】

抗体が第二のクロマトグラフィー樹脂の通過液から回収される、請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 8】

抗体及び / 又は不純物が第二のクロマトグラフィー樹脂から溶出される、請求項 1 乃至請求項 6 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 9】

抗体がモノクローナル抗体である、請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項記載の方法。

【請求項 10】

抗体がポリクローナル抗体である、請求項 1 乃至請求項 8 のいずれか 1 項記載の方法。